

平成 29年度

## 東女2月号

大雪が降り、外で遊べない子供たちは、部屋の中でじっくりと友だちと遊ぶ姿が見られます。どの学年も友だちと一緒にいることが楽しくて仕方がない様子です。こままわし、カルタ取りなどのお正月遊びを友だちと楽しんだり、お遊戯会の踊りや劇、合奏の音も聞こえて来ます。

お面や小道具をつけて劇ごっこをしたり、曲をかけて仲間と踊ったり、表現する喜びを感じています。ひとりひとりが自分の持っている力を十分に発揮しながら、いろいろな表現で楽しんでいけるようにと思っています。

インフルエンザが流行の兆しをみせています。引き続きうがい・手洗いで予防に努め、体調がすぐれない時は、休むなど早めの対応で体調管理につとめて下さい。

### 年少

園庭では、友だちと手を繋いではないちもんめをしたり、色鬼や、園庭では、追いかけたり追いかけられたりを楽しんでいたところでの大雪でした。「なんだか冷蔵庫みたいに冷たい！」「ずっと座っていると寒い」「太陽のところあったかい」と子どもたちは日かげと日なたのあたたかさの違いや太陽が当たるとあたたかくなることに気づいてきたようです。

お遊戯会の劇の絵本を読み、絵本の登場人物のお面を用意すると、自然とその世界でのごっこ遊びも始まりました。「クークーってなけますか?」と鳥になってお部屋を走り回ったり、「手袋の中にあるのはだあれ?」とお面をかぶってままごと遊びをしています。まだ、その世界観とは関係ないままごとだったりしますが、お面をかぶるだけで一緒に遊びをしている仲間になれます。

先生がお話を始めると、すぐにそのものになりきって遊び始めます。皆で声を合わせて行ったり、歌をうたったり、かけあいの言葉の繰り返しを楽しみながら、なりきって動くことを楽しんでいます。

1学期からいろいろなうたや手あそびを楽しんできてみんなと一緒に声をあわせることが大好きになってきました。その曲に合わせてカスタネット、タンバリン、トライアングル、すずなどの打楽器やメロディー楽器のピアノカを使って合奏を楽しんでいます。勝手に鳴らすのではなく、交代で音を出したりリズムを感じたりして鳴らすと、気持ちがいいとわかって、楽しくなっています。

### 今月の目標

年少組 ・共通のイメージに入り込んで、友だちと言葉のやりとりを楽しみながらそのつもりになって表現するおもしろさを感じる。

年中組 ・共通のイメージの中で友だちと一緒に表現するおもしろさを感じながら、自分の力を発揮していく。

年長組 ・仲間同士で自分の考えを伝え合い、協力して、表現活動に取り組む。

### 年中

冬休み明け、お正月遊びの羽根つき・逆さこま・こま回しにも挑戦してきました。紐の巻き方が難しいので、先生も手を添えて紐を紐を巻いたり回すことを楽しんでいます。「福笑いも」やっついて、「なんだか怒ってるみたい」「目が下に下がると泣いてるみたいだね」など、顔の中にある目・鼻・口・眉毛に気付いたり・その顔のパーツの位置によって表情が変わることにも気づいてきました。自分の心の中にある鬼を考え「泣き虫鬼」「怒りんぼう鬼」などやっつけたいものと考え、表情豊かな鬼のお面を作りました。節分の豆まきで使うのを楽しみにしています。

物語の世界で遊ぶ楽しさは、運動会、作品展を通してたくさん経験してきました。絵本を読むとすぐに、お話の登場人物になってストーリーの世界に入り込んで遊んでいます。ゆり組は、毎日いろいろなものに変身して、魔法使いに魔法をかけられない方法を考えて遊んでいます。きく組は、牛乳パックで自分だけの靴を作り、靴屋さんごっこが始まりました。ばら組は、毎日不思議な出来事が起こり、どうやら、物語に出てくるカツパの仕業だと、カツパ探しを楽しんでいます。ごっこ遊びをしながら、登場人物の気持ちや情景を想像し、みんなで作った大道具や小道具が出来てくることで、それを使って更に遊びが深まっています。また、遊戯もみんなと一緒に踊りながら、曲の特徴や歌詞の意味、イメージを感じて踊っています。沢山の自分のやりたい楽器にも触れ、リズムやメロディを感じながら演奏しています。バラバラに楽しんでいた踊りも歌も合奏も、一緒にしている友だちと気持ちを合わせると、きれいに聞こえたり、気持ちよかったです。ことを感じて楽しんでいます。

### 今月のおやくそく

・手洗い、うがいをして風邪の予防をしましょう。

### 今月の歌

年少組 まめまき ゆきのこぼろず

年中組 ゆき そうだったらいいのにな

年長組 みんなともだち  
ぼくらはみらいのたんけんたい

### 年長

雪が固まって氷になるのを発見したり、だんだん溶けていくのを毎日報告し合ったり、冬の寒さや、冬ならではの自然現象に面白さを感じています。外に出られないときには、あやとりや、指編みにも友だちと一緒に挑戦しています。正月遊びに取り組み、コマ回しでは、少しずつ回せる子が増えてきました。繰り返しの経験から、紐の巻き方が上手になってきました。指先が器用になって、じっくり取り組んでできるようになってきました。

クラスからは、遊戯の曲や声が聞こえてきます。「だんだん揃ってきたね。」「○○くんのポーズかっこいいね!」と、クラスみんなで振りを覚えてきました。担当以外の子は小さな監督や演出家になって、「もっと手をあげたほうがきれいに見えるよ!」「足をしっかり開いて腰を低くするとかっこいいよ。」など、友だちの取り組みを応援し、クラスで一つのものを作り上げようという意識が見られます。

各クラス、物語の登場人物になった遊びが広がっています。桜組は、自分たちの作ったお話を更にわかりやすくしようと登場人物の性格なども考えています。藤組は、王様の衣裳を作り、園の中を王国に見立てて巡回しながら王様の仕事を感じています。桃組は、お話を読むとすぐにお面や小道具を作り、やまんばと小僧さんの鬼ごっこが始まりました。劇のせりふや小道具も全員で考えながら作り、一緒に取り組んでいるので、他の子が欠席しても、すぐに誰かが代役を勤めることができます。「一緒に出られるように合図を決めよう。」「みんなで言ったほうがお客さんに聞こえるかも。」と、お客さんに見せることも意識しながら、ひとりひとりの役割を感じ、みんなで試行錯誤しながら全員の力を合わせて作り上げています。合奏や斉唱では、リズムを感じたり、歌詞の意味を考えながら、お互いの音や声を聴き、合わせる喜びが感じられるようになってきました。行事への取り組みの中で、みんなで各自の良さを認め合い、励ましながら、ひとつの劇、遊戯、斉唱、合奏を作り上げていきたいと思っています。



